

特集/卒業後の進路を学ぼう⑫最終 私立高等学校について

高等学校を設置者によって分類すると、大きく分けて公立高校と私立高校に分けることができます。まず、公立高校とは、大阪府立〇〇高校、堺市立△△高校、といったように地方公共団体が設置しています。

私立高校は、民間の学校法人が設立した学校で、公立高校にくらべて、各校独自の教育方針を持って個性的な学校運営を行っていることが特徴といえるでしょう。例えば、創立者の理念にもとづいて独自の校風を樹立している学校、宗教基盤の上に立って情操教育に力を入れている学校または、短大・大学までの一貫教育をしている学校(※1)などがありますし、最近では特進コース(※2)などと称するコースを設置し、大学進学に力を入れている学校が増えてきました。

なお、私立高校には一般的に設備などが立派なものが多いですが、その分、経費は高くなるということをぜひ理解してください。

次に、公立高校は、男女共学制が大半ですが、私立高校は男子校・女子校・共学校と別れているのが特徴です。しかし最近では、少子化で男子校・女子校が減り、男女共学校もどんどん増えてきました。また、私立高校には学区制はありませんので、どの学校も自由に選んで、受験することができます。

(※1) 大学を併設していても、優先的にその大学へ入学させてくれるとはかぎらない場合もあるので、注意して下さい。

(※2) 「英数コース」「理数コース」など、学校によってそれぞれの呼び方をしています

私立高校の入試

私立高校は、その学校独自の方針で運営されていますので、入試についても、それぞれの学校によってさまざまです。ここでは、各私立高校に共通する部分について説明しますので、詳細は各高校独自で開催する入試説明会、オープンスクールなどに参加して下さい。

【入試日】 2月上旬

・大阪府下の私立高校は一斉に同日に入学試験を行いますので、複数の私立高校を受験することは原則としてできません。

しかし近年、「1.5次併願入試」・「2次併願入試」を実施する私学があります。よってこの場合は、複数校受験することが可能になります。

【入試科目】

学校により3教科(国語・数学・英語)または、5教科(国語・数学・社会・理科・英語)に分かれます。一般的に男子校(共学校)は5教科、女子校は3教科が多いようです。

【面接試験】

私立高校では、入試の中に面接を取り入れることが多いです。なかには保護者同伴の面接を実施する高校もあります。高校の先生が直接受験生と接し、いろいろな会話の中から筆記試験ではわからない人柄や特長、態度などを知るとともに、その学校の教育方針や校風を理解し、入学に対して強い意志をもっているかを見ます。

【合否判定】

学科試験の得点、面接の結果、そして中学校から送付する調査書などによって総合的に判定されます。

※最近、私立も中学校からの調査書(内申点)を重視する傾向にあります。

今年度は絶対評価になりますので、私学も判断を検討しています。

※合計点で合格圏内であっても、ある教科の得点が極端に低いと、不合格になることもあります。

※服装・態度が良くないという理由で不合格になることもあります

【合格発表】

入学試験実施後、数日で結果が郵送される場合が多いです。

※期目までに入学手続きをしないと合格が取り消されますのでくれぐれも注意して下さい(学校により、また専願・併願により納入期日・金額が異なります)

【専願と併願】

専願とは私立高校に合格したら必ずその学校に入学することを前提に受験することをいいます。それに対し、併願とは、他の公立高校などとかけもちで受験することをいいます。

私立高校の多くは、専願で受験する生徒を優先させます。つまりテストの合格最低点は専願の方が少し低いということです。

※専願で私学に合格すれば、公立や他の私学は受験できません。必ずその専願で受験した私学に進学します。

※併願の場合、私学・公立とも合格した場合は、必ず公立に進学してもらいます。これは約束です。私学か公立かを天秤にかけて選ぶことはできません。

【特別奨学生(特待生)制度について少し】

当日の入試成績によって、たとえば入学金17万免除とか、奨学金として50万×3年間を給付するとか(併願の場合、専願に切りかえなければならぬ高校が多い。)

また校内実力の結果で「〇〇〇点以上の生徒で専願」ならば入学金免除・25万×3年間を特待生として給付するとか(入学後、急激に成績が下がった場合は2年目以降給付されない高校もあります。)

しかし、当然ながら特待生は受験戦士にならなければならない(笑)。国公立合格、有名私学合格が期待されるのだからね。

◆毎年毎年、私学の「特別奨学生制度について」を紹介するたびに思う…

「学問」が「学歴」にすりかえられた。そこに不幸の根が張った。

むの たけじ「たいまつ」より

受験学力もがお金に換算される…学問すら経済効率が求められる、仕方がないのかなあ?

裏面参照「大阪商業大学堺高校」特待制度について掲載

掲載には、商大堺の許可を頂いています。

令和4年度入試 学力基準および特待制度等について

受検基準であって合格基準じゃない 大阪商業大学堺高等学校

1. 学力基準

コース	専願基準点 (中学校実力)	併願基準点 (中学校実力)
特進エキスパート (共学)	300点	330点
特進アドバンス (共学)	220点	250点
進学グローバル (共学)	170点	200点
スポーツ (共学)	***	

2. 特待制度

中学校の成績でOK ただし受検戦士！

成績優秀者特待制度 (中学校の成績による特待制度) (専願受験者のみ)

(特進エキスパートコース, 特進アドバンスコース, 進学グローバルコース受験生)

種別	入学金	特典
A 中学校実力テスト 350点以上 かつ 評定合計 20以上	全額免除	・学習奨励費 500,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
B 中学校実力テスト 330点以上 かつ 評定合計 20以上	全額免除	・学習奨励費 200,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
C 中学校実力テスト 300点以上 または 評定合計 20以上	半額免除	・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)

(スポーツコース受験生)

種別	入学金	特典
A 評定合計 22以上 かつ 中学校 2学期実力テスト 学校平均点または 250点以上	全額免除	・学習奨励費 500,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
B 評定合計 20以上 かつ 中学校 2学期実力テスト 学校平均点または 250点以上	全額免除	・学習奨励費 200,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
C 評定合計 18以上 かつ 中学校 2学期実力テスト 学校平均点または 250点以上	半額免除	・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)

※ 評点合計とは、5教科5段階評定の合計です。

年間 500,000、3年間で 1,500,000 万円だ！！貸与ではなく支給 (給付)

成績優秀者特待制度 (入学試験の成績による特待制度) (専願・併願受験生)

(全コース受験生)

種別	入学金	特典
1種 入学試験の5教科合計 350点以上 かつ 全受験生の入試結果 20位以内	全額免除	・学習奨励費 500,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
2種 入学試験の5教科合計 330点以上 かつ 全受験生の入試結果 50位以内	全額免除	・学習奨励費 200,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
3種 入学試験の5教科合計 300点以上 かつ 全受験生の入試結果 100位以内	半額免除	・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)

- ※ 入学後、1年間の成績により、成績特待生に認定されることがあります。
- ※ 入学後、学業不振と判断した場合、成績特待生を取り消すことがあります。
- ※ 授業料の減免は行いませんが、国や府などの就学支援制度への申請は可能です。

スポーツ特待制度

対象クラブ : サッカー部, 柔道部 (男・女), 日本拳法部 (男・女),
男子ハンドボール部, 女子ハンドボール部,
女子バレーボール部, 女子テニス部, 女子バドミントン部

※ スポーツ技能が優秀であること、学業および生活態度において模範となる人物であることを条件に、出身中学校校長の推薦が受けられる者に対して適用します。

種別	入学金	授業料	特典
A	全額免除	580,000円	・活動奨励費 300,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ無償 (入学時)
B	全額免除	580,000円	・活動奨励費 150,000円 (3年間支給) ・学校指定用品 全員購入制成品のみ 50,000円免除 (入学時)

3. その他の制度

同窓生子女・兄弟姉妹等入学金減免制度

- ・本校卒業生の子、孫、兄弟姉妹および在校生の兄弟姉妹は、入学金を半額免除します。
- ・兄弟姉妹が同時入学する場合は、入学金を1名分のみとします。

系列高等学校推薦入学制度

- ・大阪商業大学, 神戸芸術工科大学を受験する場合は、系列校連携入学試験を受験することができます。
- ・上記大学へ入学する場合は、現役生は入学金を全額免除、卒業後1年までの者は入学金を半額免除とします。

以上

◆私学の場合、どの高校でも、上記 (大商大堺) のような特待制度を設けています。No25にも、興国高校の特待制度を掲載しましたが、なかなかオープンにしていない高校も多数ありますので、もし、聞きたい高校があれば、担任や志望高校に訊ねてくださいね。

◆さらに①様々なコースの内容確認 (指定校推薦が受けれるうけれない・留学制度がある 等々 ②高校卒業後の進路 (先) 状況 ③指定校推薦校の確認 など、しっかり各高校の情報をゲットすること。